

整理番号	26-6	事務事業名	大規模自転車道関連整備事業	作成部署	建設部都市整備課	電話	内線750	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	藤井高志	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H13	根拠法令等	都市公園法第2条2項					
〃 終了予定年度	H17							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	大規模自転車道の整備に伴い、自転車道利用者のための休息施設が必要であり、施設の整備に当たっては現状の自然環境を生かすことにより身近に自然と触れ合う場としての活用や、子供たちが自然環境から直接学ぶ学習施設としても利用できるものを検討する必要があった。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第2章)
	節	自然と緑と公園	(第1節)
	施策	みんなが憩える公園・緑地づくり	(第2施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	大規模自転車道利用者	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市民及び近隣市民のライフスタイルの多様化に対応して、身近なスポーツとしてのサイクリングを楽しみながら、自然とのふれあいや学習を通し余暇・自由時間の充実を図っていく。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	水辺の広場 A=73,484㎡ 散策路・あづまや・トイレ・ベンチ等
		17年度	学習の森 トイレ

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金		2,500		
	道支出金			3,250	
	地方債	16,100	44,800		
	その他特財				
	一般財源	13,266	49,267	3,250	
	合計	29,366	96,567	6,500	
人件費 (概算)	人数(年間)	0.30	0.30	0.30	
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	
	= ×	2,700	2,700	2,700	
総事業費 +		32,066	99,267	9,200	

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	施設整備(千円)	17,975	49,854	6500	
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	施設整備率	67%	99%	100%	
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1㎡当たりの施設整備費 (事業費 / 施設整備面積)	533円/㎡	1,350円/㎡		

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市民の価値観やライフスタイルの多様化が進み、余暇・自由時間の充実や自然とのふれあいを求める声が強まっている。また、車社会からの転換も求められてきている。当該事業により自転車利用が促進され、これらの課題解決の一助につながる。
---------------------------------	---

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	都市公園法により、地方公共団体が公園施設について、設置・管理することが適切ことから市が実施すべき事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の余暇・自由時間の充実、手軽なスポーツや自然とのふれあいなどのニーズに応えていく観点から妥当な事業である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	大規模自転車道本線の有効活用を図るための休息スペース等が必要であり、手段としては適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	市が設置すべき公園であることから受益者負担は該当しない。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	当初の計画より1年遅れているが平成16年度に事業完了する。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	施設整備、用地取得に係る経費については、計画的かつ効率的に執行されている。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	平成13年度から実施している当該事業の主たる施設の整備は、平成16年度をもって完了したが、通過だけでなく、学習の森などの施設が利用しやすくなるように、学習の森にバイオトイレを設置し本事業を終了する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	17年度で事業を終了する。